

## BCG（結核）ワクチン

【結核について】結核菌の空気感染によっておこります。感染者すべてが発病するわけではなく、保菌者の免疫力がおちた時に発症することもあります。日本では毎年2万人程度が新たに結核を発症しており、大人から子供への感染も少なくありません。結核に対する免疫はお母さんからもらうことができないため、乳幼児が感染した場合、全身性の結核症や結核性髄膜炎などになりやすく、重い後遺症を残す可能性があります。

### 【BCGについて】

BCGは牛型結核菌を弱毒化してつくられた生ワクチンです。

BCG接種により、結核の発病を1/4に抑えられます。とくに小児の重篤な結核症の発病予防に有効です。

1回の接種により効果は10～15年持続します。

《接種方法》管針というスタンプを用い、上腕のほぼ中央部に2か所に押し付けて接種し自然に乾燥させます。

《接種後の変化》接種後2～3週間頃から接種部位に赤みや膿が出て、4週間頃に最も強くなりますが、その後かさぶたができて3か月ころにはおさまります。（接種後に写真の資料をお見せします。）

これらは免疫がついたことを示す正常な反応です。

接種部位を清潔に保つほかは、とくに処置は必要ありません。

《副反応》接種後1～3か月頃にまれに接種した側の腋のリンパ節が腫脹することがあります。

通常自然になおりますが、3cmを超える大きなものや、化膿し皮膚が破れて膿がでた場合には受診してください。

発熱はほぼありません。

骨炎、全身のBCG感染症、アナフィラキシーなどの報告はありますがごくまれです。

※コッホ現象 結核菌にすでに感染している場合にBCGを接種すると早期（10日以内 多くは3～5日）に接種部位が発赤し腫れて膿み、2～4週間で消炎、瘢痕化し治癒するという反応がおきます。これをコッホ現象といいます。

接種後10日以内に接種部位に発赤や膿がみられた場合には、小児科を受診してください。

【定期接種できる期間】1歳になる日の前日まで。

【スケジュール】上記期間に1回。標準接種期間は5～8カ月です。

3カ月未満で接種すると免疫不全があった場合に重篤な副反応をおこすことがあります。

【接種費用】 無料（23区内の予防接種予診票を持参し、記載された有効期限内であれば公費負担）

ただし23区内の予診票を持参しないで接種 対象年齢を超えての接種  
指定医療機関以外での接種 規定の回数を超えての接種は有料。

【持参するもの】 予防接種予診票（体温以外の項目をあらかじめ記入しておいてください。）

母子健康手帳

※家族に結核患者の方がいて長期の接触があった場合など、過去に結核に感染している疑いのあるお子さんについては医師にご相談ください。

※外傷などによるケロイドが認められるお子さんは接種できません。

※上腕に広く強い湿疹がある場合、先に治療をおすすめすることがあります。

（BCGを接種した部位にはしばらくの間ステロイド軟膏を塗ることができません。）